

ギネスワールドレコーズ – 獣医師報告書

申請を効率的に審査、処理するために、担当する獣医師は以下の書類を全て記入すること。

獣医についての詳細			
名前	Joe Bloggs (BVetMed MRCVS)	獣医師の免許番号	PV12345
申請している記録タイトル	1分間に犬がスキップした最大の数		
ペットと飼い主についての詳細			
飼い主/飼育係/乗り手	Frank-飼い主	ペットの名前	Bob
ペットの歳、誕生日	6. (1/1/2018)	種類/種族または学名	ドーベルマン
パスポート/マイクロチップ番号	1234567		
特筆すべき医療情報 (両方の耳が聞こえない診断を受けた等).			
ボブは片方の目が盲目ですが、これにより影響を受ける子とはありません			
当てはまるものを選択して下さい。			
1	記録に挑戦するにあたり、この動物は健康かつ適している状態にある	はい	いいえ
2	動物は、挑戦に参加できる最低年齢を超えている	はい	いいえ
3	この動物は近親交配されていない	はい	いいえ
4	適切な生誕証明書/パスポート/マイクロチップの書類が提出されている	はい	いいえ
5	記録ガイドラインの全てを満たしている	はい	いいえ
6	この動物は、通常のグルーミング以外、皮、殻、その他外皮物に変形を加えられていない	はい	いいえ
7	この動物は自然な状態で、器具を使用する場合は、動物の安全と快適さを保証するための適切な器具が使用されている	はい	いいえ
8	この動物は以下の医療行為を受けたことがある		
	尾切り	はい	いいえ
	耳切り/テーピング/添え木	はい	いいえ
	声帯切除、あるいは吠えないための矯正行為	はい	いいえ
	抜爪、除爪	はい	いいえ
質問8で『はい』が選択された場合、以下にその行為に至った経緯、理由などの詳細を記入すること。(例: 使役動物のため、過去の怪我による止むを得ない医療行為/医学的要求、保護動物の場合は保護以前の状態など)		その他記録挑戦に関して特筆すべきこと (例: 器具を変更した、最終カウント数に含まれなかった参加者など)	
車に轢かれたことがあり、その時に尻尾の骨が著しく傷つき、医療従事者のアドバイスの元、尻尾を手術で切除しました。保護犬です (2020年6月25日、バトルシー犬シェルターから)。両耳は保護する前から欠けていました。		2回目の挑戦で達成することができました。最初はアスファルトの上で挑戦しましたが、着地の衝撃を抑えるため、スポーツセンターに移動しました。	

獣医師のサイン:		日付:	
申請者のサイン:		日付:	